

演題 10

三重県がん相談支援センターの
取組みについて




北村 周子

三重県がん相談支援センター


三重県がん相談支援センター
の取組みについて
(2011.8.6)

三重県がん相談支援センター
北村周子

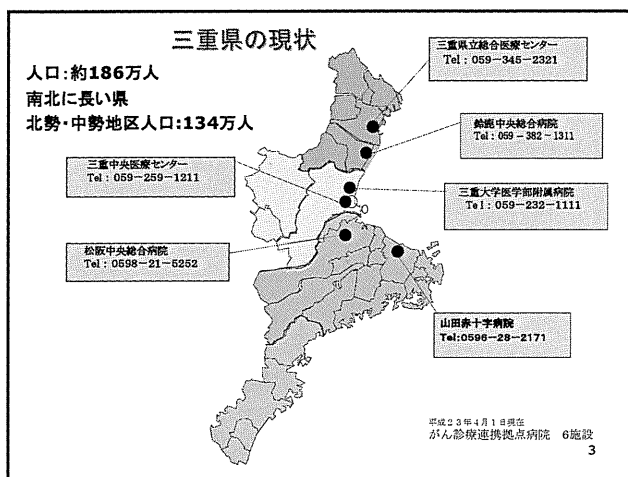


1

1、三重県がん相談支援センター
開設の背景



2



開設の背景

県内に「がんセンター」がない。
交通の利便性
生活圏と医療圏が異なる地域

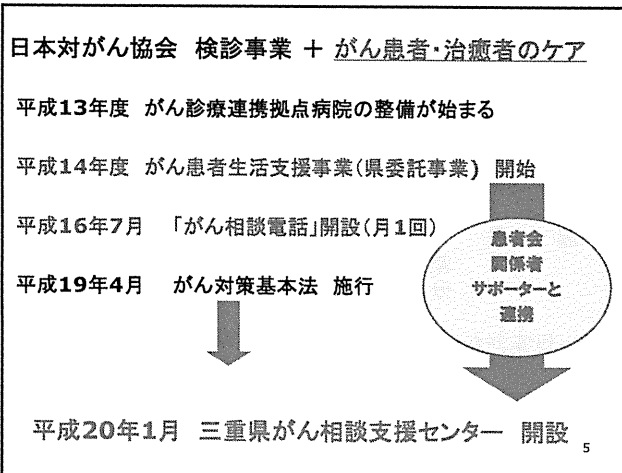
・県民が「がん」になったら
主に 三重大学病院 など または
県外のがん専門病院

・相談する窓口は？
→ 日本対がん協会三重県支部 など
に相談

↓

相談窓口が必要

4



三重県がん対策戦略プラン(平成20年度改訂)

施策の柱	対 策
予 防	<ul style="list-style-type: none"> ・たばこ対策 ・生活習慣の改善 ・肝炎対策
早期発見	<ul style="list-style-type: none"> ・がん検診の効果的な実施と受診率の向上 ・精度の高いがん検診の実施
がん医療	<ul style="list-style-type: none"> ・医療機関の整備と医療連携体制の構築 ・放射線療法及び化学療法の推進 ・緩和ケアの推進 ・在宅医療の推進 ・がん登録の推進 ・がん医療を担う人材の育成
予 後	<ul style="list-style-type: none"> ・相談支援及び情報提供の充実

平成20年1月 三重県がん相談支援センター開設 ⁶

2、三重県がん相談支援センターの概要

⁷

三重県がん相談支援センター

目 的

がん患者やその家族が安心して療養を続けることができるように、不安や疑問についての相談を受けたり、がんに関する情報提供を行い、がん患者や家族のQOL(生活の質)の向上を目指す。

⁸

役割

- がん患者や家族に対して第三者的な立場での相談支援を行う。
- がん患者や家族が心の悩みや体験を話し合える場を提供する。
- 県民や医療機関に対して、がんに関する社会資源の集約および提供を行う。

9

概要

開設日・時間：月～金 9:00～17:00

開設場所：三重県津総合庁舎内 保健所棟1階

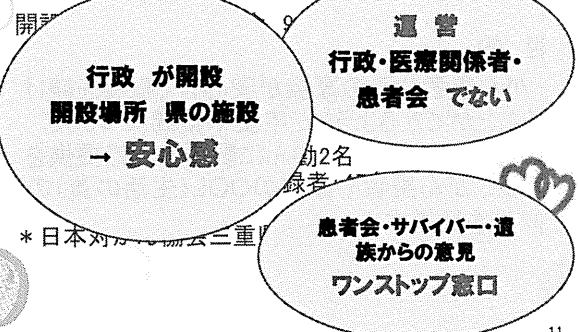
職員：3人体制
 常勤3名、非常勤2名
 サポーター登録者：45名

* 日本対がん協会三重県支部に運営委託



10

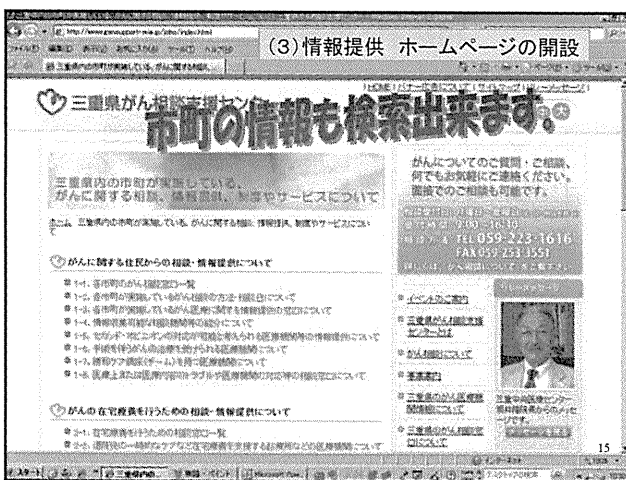
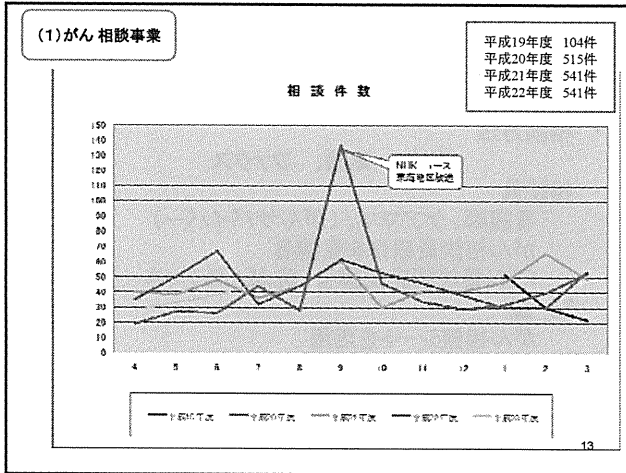
概要



11

主な事業





(4) がん相談員との連携

- 目的
 がん相談に必要な知識の習得ならびに資質向上を目指し、県内のがん患者・家族に質の高い支援を行う。
- 対象
 県内のがん相談支援に携わる担当者
 がん患者の療養を支援する関係者など
- 拠点病院相談員との実務者会議
- 相談員研修会

ネットワーク(連携) → 支援策の構築
 安心して療養生活を送る

16

(5) サポーターの育成と協働

- 目的
 サポーター(がん体験者・患者家族、がん患者支援に関心のある方等)は、がん患者や家族の思いに対し、尊重と理解をもった支援を行えるよう、必要な知識及び技術を習得する。サポーター(ボランティア)としての意識を高め、がん患者及び家族の支援活動への参加を推進する。
- 対象
 当センターにサポーターとして登録している人
 県内でがん患者・家族支援活動に参加している人・今後活動を希望する人
- 育成 サポーター研修会 毎年1回開催
 患者や家族の価値観を尊重する「姿勢」とコミュニケーション「技術」の習得
 ピアカウンセラー養成講座受講助成

17

(1) がん相談

- 開設日時 月～金 9:00～17:00
 (受付時間 9:00～16:30)
- 相談方法
 面接、電話、ファクス
- 相談員
 看護師、ケアマネ、(がんサバイバー)
 がん相談員研修を受講者
 CIN養成講座受講者、乳がんコーディネーター
- 記録
 がん相談シートを活用
 データー集計
 リピーター用ファイル
- カンファレンス 事例検討

18

平成22年度 相談件数・利用回数

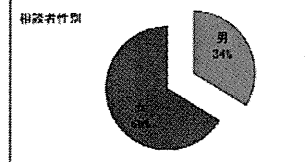
1.相談方法		2.利用回数	
件数	件数	件数	件数
電話	430	初めて	327
面談	90	2回目以上	192
その他	22	不明	22
計	542	計	541

原簿1件あり

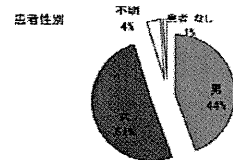
19

相談者・患者性別

相談者性別	件数
男	185
女	364
計	549



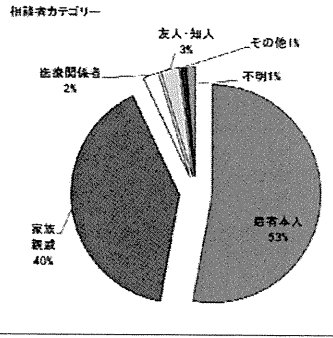
患者性別	件数
男	240
女	275
不明	20
患者なし	6
計	541



20

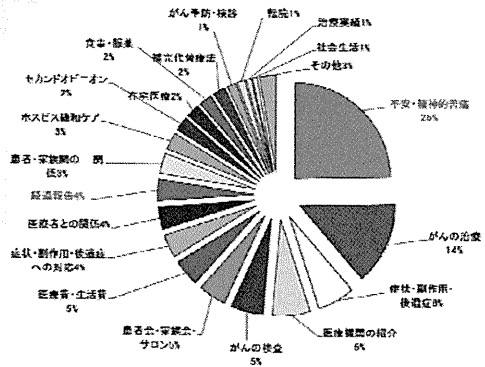
相談者カテゴリー

相談者カテゴリー	件数
患者本人	290
家族・親戚	220
医療関係者	13
友人・知人	15
その他	4
不明	7
計	549

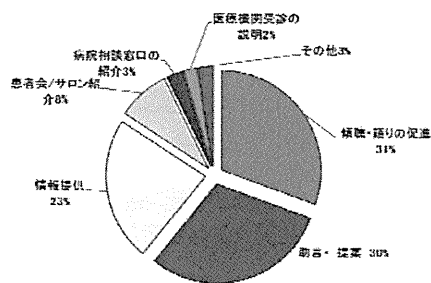


* 複数での相談あり

相談内容



対応内容



おしゃべりサロン参加者アンケートより

・参加者 発病してから1年～5年の人が多い
 5年以上の人も

・がんになって一番困ったことは・・・

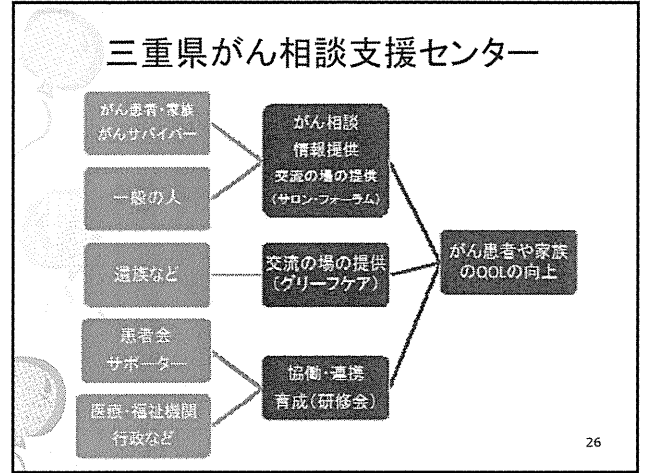
- ・気持ちの持ち方、一日の過ごし方、生活スタイルについて話せる人が欲しい
- ・後遺症や容姿が変わったことで元の生活に戻れない
- ・家族は元気になったと思いき、あまり相談できない。
- ・患者のストレスを、支えきれなくなる(家族)

相談者(利用者)
 がん治療を開始する前の患者、
 外来通院治療する患者、経過観察中の人、
 治療方法がなくなった人、遺族、
 がんサバイバー、健康な人

相談者(利用者)は・・・

- ・情報が欲しい
- ・独居、高齢者世帯、子供のいない夫婦、
 一人親世帯など、身近に相談する人がいない
- ・医療者とのコミュニケーションが苦手な人
- ・医師との関係を大切にしたい人(良い患者でいたい)
- ・自分の情報を出さずに相談したい(電話相談)
- ・大切な人をがんで亡くし悲嘆にある

25



最後に・・・

課題 予算、情報、周知

がん対策基本法 平成19年4月 ～

- ・がん患者のサポート体制の整備

拠点病院 → 自院の受診患者、入院患者 中心

今後

がん患者の増加・高齢化

- ・在宅療養の推進
- ・がんサバイバーの社会復帰の支援
- ・がん患者・家族・遺族の心のケア
- ・教育の必要性(がんとは・早期発見、治療、死生観、看取り など)

→ 地域で生活するがん患者・家族を支えるシステム

最後に・・・

課題 予算

がん対策基本法

- ・がん患者のサポート体制の整備

拠点病院 → 自院の受診患者 中心

今後

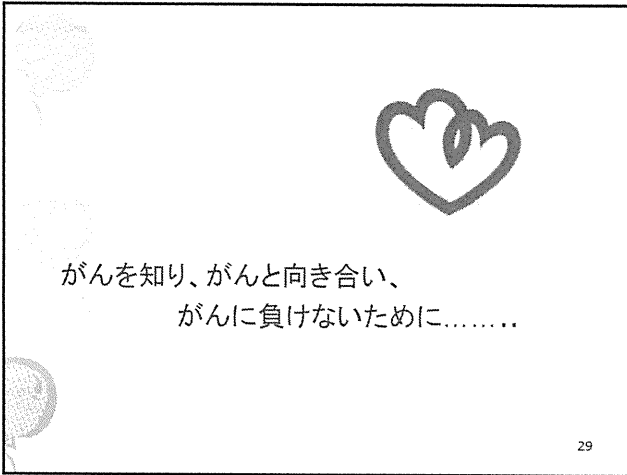
がん患者の増加・高齢化

- ・在宅療養の推進
- ・がんサバイバーの社会復帰の支援
- ・がん患者・家族・遺族の心のケア
- ・教育の必要性(がんとは・早期発見、治療、死生観、看取り など)

→ 地域で生活するがん患者・家族を支えるシステム

闘病中の患者や 家族を支える

地域で療養する 患者や家族を 支える



『がん相談支援講演会』アンケート

2011年 8月 6日

今後の企画や相談支援センターの現状を把握させて頂くために、ご協力をお願いいたします。

I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについてお伺いします。

1) 施設所在地 (都道府県)	都 道 府 県				
2) 病院の種類	1. がん専門病院	2. 大学病院	3. 総合病院	8. その他 ()	
3) 現在の職種	1. 福祉職	2. 看護職	3. 心理職	4. 事務職	5. その他 ()
4) がん相談支援に関 わっている年数	1. なし	2. 1年未満	3. 1年以上 3年未満	4. 3年以上 5年未満	5. 5年以上

II. 本日のプログラムについてお伺いします。

1) 本日の講演プログラムの中で、①興味をもった内容、②ぜひ取り組んでみたい内容、はありましたか？ ①②それぞれについて当てはまるところに○をつけてください。 ※複数回答可	① 興味を もった	② ぜひ取り 組んで みたい
演題 1. 「相談記録ツールの紹介」 石川睦弓 静岡県立がんセンター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 2. 「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」 菊内由貴 四国がんセンター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 3. 「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理(仮)」 秋庭聖子 青森県立中央病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 4. 「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」 横川史穂子 長野市民病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 5. 「(患者会)自分を取りもどす活動サポート」 清水奈緒美 神奈川県立がんセンター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 6. 「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」 石田リツ子 JA北海道厚生連 帯広厚生病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 7. 「相談支援センター発信：地域連携ネットワーク構築への取り組み」 大石美穂 佐賀県立病院好生館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 8. 「広島県のがん相談員意見交換会の取り組みの経緯」 米田悦子・織田浩子 国立大学法人 広島大学病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 9. 「奈良県のがん相談連絡会の取り組み」 川本たか子 奈良県立医科大学附属病院	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
演題 10. 「三重県がん相談支援センターの取り組みについて」 北村周子 三重県がん相談支援センター	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
2) 本日の講演プログラムを通して、新たに学んだこと、 あなたと参加者の皆さんの力を合わせて、新たに取り組んでみたいこと、などありましたらご記入ください。		
3) 演題・演者へのコメントや、感想・ご意見などありましたらご記入ください		

Ⅲ. あなたご自身の（相談員、あるいは、相談支援センターに関わる者の立場からみた）相談支援センターを取り巻く状況についてお伺いします。

1) がん相談支援活動に関して、他施設の相談員あるいは関係者等と情報交換をする機会（例、講演会や勉強会などの参加や開催、情報交換会など）は、どのくらいありますか。				
1. 毎週	2. 月に2回程度	3. 2,3ヶ月に1回程度	4. 半年に1回程度	5. 1年に1回程度
2) あなたご自身が、都道府県のがん対策担当者と会って話す機会は、どのくらいありますか。				
1. 定期的にある	2. 不定期だがある	3. ほとんどない	4. 自分は関わっていないのでわからない	
3) 今後、自分たちで、相談支援に関わる研修会や勉強会、情報交換会などを行う予定はありますか。				
1. すでに実施している	2. 具体的な予定が決まっている			
3. 具体的な予定はないがやる予定である	4. 今のところ実施する予定はない			
4) 今回の「がん相談支援講演会」参加にあたっての旅費は、以下のどれにあたりますか。				
1. すべて個人負担である	2. 一部、個人負担である（すべてではないが施設からの負担がある）			
3. すべて施設負担である	4. その他（ ）			

Ⅳ. 本日参加の講演会と、あなたご自身の活動等について伺います。

1) 相談支援センターの活動について“知りたい・学びたい”等、①本日の「講演会」で聞いたかった内容は、どのような内容ですか。また、②本日の「講演会」を聞いて、相談支援センターの活動について、あなたご自身がヒントとなると考えられた内容は、どのような内容でしょうか。①②それぞれ当てはまるところに○をつけてください。	① 聞いたかった内容は？	② ヒントが得られた内容は？
1. 自分やスタッフの相談対応のスキルの向上について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2. 地域連携などの病院業務の分担方法について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
3. 病院内の相談支援の体制作りについて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
4. 県内の相談部会などの運営の仕方について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
5. 相談記録の記入方法や管理方法について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
6. 地域連携やネットワークづくりの方法について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
7. 病院の相談支援の活動を地域にどのように広げていくかについて	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
8. 広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
9. がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
10. 地域に根ざした相談支援の活動展開について	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
11. その他（ ）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
12. その他（ ）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
13. その他（ ）	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
2) 今、現場で困っていることや、ぜひ他施設の方々と話し合ってみたいこと、などありましたらご記入ください。		

ご協力ありがとうございました。ご回答いただきました結果については、今後の活動の参考にさせていただきます。

本日の講演会おつかれさまでした。

『がん相談支援講演会』アンケート 調査集計表

作成日：2011年9月15日

設 問	選 択 肢	全体		病院の種類									
		度数	構成比	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答
		148	148	18	30	96	3	1	18	30	96	3	1
I. はじめに、ご回答いただくあなたご自身のことについてお伺いします。													
1) 施設所在地域(都道府県)	01 北海道	4	2.7	1	0	3	0	0	5.6	0.0	3.2	0.0	0.0
	02 青森県	3	2.0	0	0	3	0	0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
	03 岩手県	4	2.7	0	1	3	0	0	0.0	3.3	3.2	0.0	0.0
	04 宮城県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	05 秋田県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	06 山形県	4	2.7	0	0	4	0	0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0
	07 福島県	3	2.0	0	1	2	0	0	0.0	3.3	2.1	0.0	0.0
	08 茨城県	7	4.8	0	1	5	1	0	0.0	3.3	5.3	33.3	0.0
	09 栃木県	2	1.4	0	2	0	0	0	0.0	6.7	0.0	0.0	0.0
	10 群馬県	7	4.8	0	2	5	0	0	0.0	6.7	5.3	0.0	0.0
	11 埼玉県	8	5.4	2	1	5	0	0	11.1	3.3	5.3	0.0	0.0
	12 千葉県	11	7.5	0	5	6	0	0	0.0	16.7	6.3	0.0	0.0
	13 東京都	18	12.2	9	6	3	0	0	50.0	20.0	3.2	0.0	0.0
	14 神奈川県	8	5.4	3	1	3	0	1	16.7	3.3	3.2	0.0	100.0
	15 新潟県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	16 富山県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	17 石川県	4	2.7	0	0	4	0	0	0.0	0.0	4.2	0.0	0.0
	19 山梨県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	20 長野県	4	2.7	0	1	3	0	0	0.0	3.3	3.2	0.0	0.0
	22 静岡県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	23 愛知県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	24 三重県	5	3.4	0	0	4	1	0	0.0	0.0	4.2	33.3	0.0
	25 滋賀県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	26 京都府	5	3.4	0	2	3	0	0	0.0	6.7	3.2	0.0	0.0
	27 大阪府	7	4.8	2	1	4	0	0	11.1	3.3	4.2	0.0	0.0
	28 兵庫県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	29 奈良県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	30 和歌山県	1	0.7	0	0	1	0	0	0.0	0.0	1.1	0.0	0.0
	31 鳥取県	3	2.0	0	1	2	0	0	0.0	3.3	2.1	0.0	0.0
	32 島根県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	33 岡山県	5	3.4	0	0	5	0	0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0
	34 広島県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	36 徳島県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	38 愛媛県	2	1.4	1	0	1	0	0	5.6	0.0	1.1	0.0	0.0
	39 高知県	2	1.4	0	1	1	0	0	0.0	3.3	1.1	0.0	0.0
	40 福岡県	3	2.0	0	0	3	0	0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
	41 佐賀県	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	42 長崎県	1	0.7	0	1	0	0	0	0.0	3.3	0.0	0.0	0.0
	43 熊本県	2	1.4	0	0	1	1	0	0.0	0.0	1.1	33.3	0.0
	46 鹿児島県	3	2.0	0	0	3	0	0	0.0	0.0	3.2	0.0	0.0
	無回答	1		0	0	1	0	0					
2) 病院の種類	1. がん専門病院	18	12.2	18	0	0	0	0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	2. 大学病院	30	20.4	0	30	0	0	0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0
	3. 総合病院	96	65.3	0	0	96	0	0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0
	8. その他()	3	2.0	0	0	0	3	0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	無回答	1		0	0	0	0	1					
3) 現在の職種	1. 福祉職	78	53.4	12	15	49	1	1	66.7	50.0	52.1	33.3	100.0
	2. 看護職	59	40.4	6	14	38	1	0	33.3	46.7	40.4	33.3	0.0
	3. 心理職	2	1.4	0	1	1	0	0	0.0	3.3	1.1	0.0	0.0
	4. 事務職	5	3.4	0	0	4	1	0	0.0	0.0	4.3	33.3	0.0
	5. その他()	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	無回答	2		0	0	2	0	0					
4) がん相談支援に関わっている年数	1. なし	2	1.4	0	0	2	0	0	0.0	0.0	2.1	0.0	0.0
	2. 1年未満	25	17.0	4	6	15	0	0	22.2	20.7	15.6	0.0	0.0
	3. 1年以上3年未満	45	30.6	6	11	27	1	0	33.3	37.9	28.1	33.3	0.0
	4. 3年以上5年未満	43	29.3	6	6	31	0	0	33.3	20.7	32.3	0.0	0.0
	5. 5年以上	32	21.8	2	6	21	2	1	11.1	20.7	21.9	66.7	100.0
	無回答	1		0	1	0	0	0					
II. 本日のプログラムについてお伺いします。													
1) 本日の講演プログラムの中で、①興味をもった内容、②ぜひ取り組んでみたい内容、はありましたか？													
①②それぞれについて当てはまるところに○をつけてください。※複数回答可													
演題1. 「相談記録ツールの紹介」 石川睦弓 静岡県立がんセンター	①興味をもった	116	78.4	14	23	78	0	1	77.8	76.7	81.3	0.0	100.0
	②ぜひ取り組んでみたい	65	43.9	5	15	42	3	0	27.8	50.0	43.8	100.0	0.0
演題2. 「ここ最近の愛媛県の相談支援を取り巻く動向」 菊内由貴 四国がんセンター	①興味をもった	97	65.5	14	20	60	3	0	77.8	66.7	62.5	100.0	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	19	12.8	1	4	14	0	0	5.6	13.3	14.6	0.0	0.0
演題3. 「青森県の広報の方法と冊子等の情報の管理(仮)」 秋庭聖子 青森県立中央病院	①興味をもった	97	65.5	15	18	61	3	0	83.3	60.0	63.5	100.0	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	50	33.8	1	14	34	0	1	5.6	46.7	35.4	0.0	100.0
演題4. 「緩和ケア・がん相談支援センターの紹介」 横川史穂子 長野市民病院	①興味をもった	107	72.3	14	22	68	3	0	77.8	73.3	70.8	100.0	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	39	26.4	0	9	29	1	0	0.0	30.0	30.2	33.3	0.0
演題5. 「(患者会)自分を取りもどす活動サポート」 清水奈緒美 神奈川県立がんセンター	①興味をもった	89	60.1	9	19	58	3	0	50.0	63.3	60.4	100.0	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	34	23.0	3	9	22	0	0	16.7	30.0	22.9	0.0	0.0

『がん相談支援講演会』アンケート 調査集計表

作成日：2011年9月15日

設 問	選 択 肢	全体		病院の種類									
		度数	構成比	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答	がん専門病院	大学病院	総合病院	その他	無回答
演題6.「患者の視点に立った相談支援業務の取り組み」石田リツ子 JA北海道厚生連 帯広厚生病院	①興味をもった	84	56.8	12	19	49	3	1	66.7	63.3	51.0	100.0	100.0
	②ぜひ取り組んでみたい	13	8.8	1	1	11	0	0	5.6	3.3	11.5	0.0	0.0
演題7.「相談支援センター発信：地域連携ネットワーク構築への取り組み」大石美穂 佐賀県立病院好生館	①興味をもった	101	68.2	12	20	67	2	0	66.7	66.7	69.8	66.7	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	41	27.7	0	13	27	1	0	0.0	43.3	28.1	33.3	0.0
演題8.「広島県のがん相談意見交換会の取り組みの経緯」米田悦子・織田浩子 国立大学法人 広島大学病院	①興味をもった	86	58.1	12	21	50	2	1	66.7	70.0	52.1	66.7	100.0
	②ぜひ取り組んでみたい	36	24.3	3	11	21	1	0	16.7	36.7	21.9	33.3	0.0
演題9.「奈良県のがん相談連絡会の取り組み」川本たか子 奈良県立医科大学附属病院	①興味をもった	84	56.8	10	21	51	2	0	55.6	70.0	53.1	66.7	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	26	17.6	1	6	18	1	0	5.6	20.0	18.8	33.3	0.0
演題10.「三重県がん相談支援センターの取り組みについて」北村周子 三重県がん相談支援センター	①興味をもった	84	56.8	13	19	51	1	0	72.2	63.3	53.1	33.3	0.0
	②ぜひ取り組んでみたい	12	8.1	0	1	10	1	0	0.0	3.3	10.4	33.3	0.0
2)本日の講演プログラムを通して、新たに学んだこと、あなたと参加者の皆さんの力を合わせて、新たに取り組んでみたいこと、などありましたらご記入ください。		※記述回答											
3)演題・演者へのコメントや、感想・ご意見などありましたらご記入ください。		※記述回答											
Ⅲ. あなたご自身の(相談員、あるいは、相談支援センターに関わる者の立場からみた)相談支援センターを取り巻く状況についてお伺いします。													
1)がん相談支援活動に関して、他施設の相談員あるいは関係者等と情報交換をする機会(例、講演会や勉強会などの参加や開催、情報交換会など)は、どのくらいありますか。	1. 毎週	2	1.5	1	0	1	0	0	6.3	0.0	1.2	0.0	0.0
	2. 月に2回程度	10	7.5	2	3	5	0	0	12.5	10.0	6.0	0.0	0.0
	3. 2,3ヶ月に1回程度	48	36.1	7	9	31	1	0	43.8	30.0	37.3	33.3	0.0
	4. 半年に1回程度	48	36.1	5	9	32	1	1	31.3	30.0	38.6	33.3	100.0
	5. 1年に1回程度	25	18.8	1	9	14	1	0	6.3	30.0	16.9	33.3	0.0
	無回答	15		2	0	13	0	0					
2)あなたご自身が、都道府県のがん対策担当者として話す機会は、どのくらいありますか。	1. 定期的にある	13	9.2	1	0	11	1	0	5.9	0.0	12.0	33.3	0.0
	2. 不定期だがある	25	17.7	3	6	16	0	0	17.6	21.4	17.4	0.0	0.0
	3. ほとんどない	75	53.2	3	19	51	1	1	17.6	67.9	55.4	33.3	100.0
	4. 自分は関わっていないのでわからない	28	19.9	10	3	14	1	0	58.8	10.7	15.2	33.3	0.0
	無回答	7		1	2	4	0	0					
3)今後、自分たちで、相談支援に関わる研修会や勉強会、情報交換会などを行う予定はありますか。	1. すでに実施している	34	23.9	10	4	19	1	0	55.6	13.8	20.9	33.3	0.0
	2. 具体的な予定が決まっている	17	12.0	2	4	11	0	0	11.1	13.8	12.1	0.0	0.0
	3. 具体的な予定はないがやる予定である	35	24.6	2	5	27	0	1	11.1	17.2	29.7	0.0	100.0
	4. 今のところ実施する予定はない	56	39.4	4	16	34	2	0	22.2	55.2	37.4	66.7	0.0
	無回答	6		0	1	5	0	0					
4)今回の「がん相談支援講演会」参加にあたっての旅費は、以下のどれにあたりますか。	1. すべて個人負担である	54	37.2	12	12	29	1	0	66.7	40.0	31.2	33.3	0.0
	2. 一部、個人負担である(すべてではないが施設からの負担がある)	15	10.3	2	5	8	0	0	11.1	16.7	8.6	0.0	0.0
	3. すべて施設負担である	71	49.0	4	12	53	1	1	22.2	40.0	57.0	33.3	100.0
	4. その他()	5	3.4	0	1	3	1	0	0.0	3.3	3.2	33.3	0.0
	無回答	3		0	0	3	0	0					
Ⅳ. 本日参加の講演会と、あなたご自身の活動等について伺います。													
1)相談支援センターの活動について「知りたい・学びたい」等、①本日の「講演会」で聞きたかった内容は、どのような内容ですか。また、②本日の「講演会」を聞いて、相談支援センターの活動について、あなたご自身がヒントとなると考えられた内容は、どのような内容でしょうか。①②それぞれ当てはまるところに○をつけてください。													
1. 自分やスタッフの相談対応のスキル向上について	①聞きたかった内容は?	71	48.0	13	13	43	2	0	72.2	43.3	44.8	66.7	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	23	15.5	3	2	17	1	0	16.7	6.7	17.7	33.3	0.0
2. 地域連携などの病院業務の分担方法について	①聞きたかった内容は?	57	38.5	7	14	35	0	1	38.9	46.7	36.5	0.0	100.0
	②ヒントが得られた内容は?	43	29.1	2	8	30	2	1	11.1	26.7	31.3	66.7	100.0
3. 病院内の相談支援の体制作りについて	①聞きたかった内容は?	76	51.4	8	17	48	2	1	44.4	56.7	50.0	66.7	100.0
	②ヒントが得られた内容は?	67	45.3	8	16	41	1	1	44.4	53.3	42.7	33.3	100.0
4. 県内の相談部会などの運営の仕方について	①聞きたかった内容は?	41	27.7	6	8	26	1	0	33.3	26.7	27.1	33.3	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	43	29.1	3	11	27	2	0	16.7	36.7	28.1	66.7	0.0
5. 相談記録の記入方法や管理方法について	①聞きたかった内容は?	70	47.3	8	14	47	1	0	44.4	46.7	49.0	33.3	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	59	39.9	7	13	38	1	0	38.9	43.3	39.6	33.3	0.0
6. 地域連携やネットワークづくりの方法について	①聞きたかった内容は?	72	48.6	12	16	42	2	0	66.7	53.3	43.8	66.7	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	55	37.2	6	12	36	1	0	33.3	40.0	37.5	33.3	0.0
7. 病院の相談支援の活動を地域にどのように広げていくかについて	①聞きたかった内容は?	60	40.5	5	10	43	2	0	27.8	33.3	44.8	66.7	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	48	32.4	3	11	33	1	0	16.7	36.7	34.4	33.3	0.0
8. 広報方法など、相談支援センターの認知度を上げる取り組み方法について	①聞きたかった内容は?	73	49.3	11	15	46	1	0	61.1	50.0	47.9	33.3	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	74	50.0	5	18	51	0	0	27.8	60.0	53.1	0.0	0.0
9. がんサロンの運営など、患者団体等との関係や連携の仕方について	①聞きたかった内容は?	91	61.5	9	19	61	1	1	50.0	63.3	63.5	33.3	100.0
	②ヒントが得られた内容は?	64	43.2	4	12	47	0	1	22.2	40.0	49.0	0.0	100.0
10. 地域に根ざした相談支援の活動展開について	①聞きたかった内容は?	51	34.5	7	15	28	1	0	38.9	50.0	29.2	33.3	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	34	23.0	3	6	23	2	0	16.7	20.0	24.0	66.7	0.0
11. その他()	①聞きたかった内容は?	4	2.7	0	1	3	0	0	0.0	3.3	3.1	0.0	0.0
	②ヒントが得られた内容は?	0	0.0	0	0	0	0	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
2)今、現場で困っていることや、ぜひ他施設の方々と話してみたいこと、などありましたらご記入ください。		※記述回答											

Ⅲ. 研究成果の刊行に関する報告

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

著者氏名	タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
唐渡敦也	「がん」に活路見いだす中小病院		特集 拠点病院だけに任せておけない!	日経ヘルスケア	東京都港区	2011	24-25
唐渡敦也	医療連携室からのメッセージ		在宅医療 「はじめの一步」	日本医事新報社	東京都千代田区	2011	45-49
唐渡敦也	社会的責任や顧客満足に基づく医療連携を目指して		講演集	日本医業経営コンサルタント学会	東京都中央区	2011	63-70

雑誌 (日本語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
菊内由貴	【根拠がわかるがん看護ベストプラクティス】 がん患者へのケアとエビデンス 症状マネジメントとケアのエビデンス イレウス(解説/特集)	がん看護	17(2)	195-198	2012
稲田真理子, 菊内由貴, 廣澤光代, 松本裕美子, 中越海春, 船田千秋	入退院を繰り返す患者の事例を通しての退院調整看護師としてのかかわり地域と共に、患者と家族の意思決定を支える	中国四国地区国立病院機構・国立療養所看護研究学会誌	7	65-68	2012
谷水正人, 船田千秋, 菊内由貴	【"がん診療"を内科医が担う時代】 がん診療と地域連携(解説/特集)	Medicina	48(13)	2140-2143	2011
小川朝生	(Q)transcranial magnetic stimulation(TMS)の実施状況.	日本医事新報		55-56	2011,
小川朝生	「怒る」患者—隠れているせん妄をみつける	看護技術	57	70-73	2011
小川朝生	せん妄を家族に説明する	看護技術,	57	172-175	2011,
小川朝生	せん妄と認知症の症状の見分け方	看護技術,	57	250-253	2011
小川朝生	レスキューが効かない痛み	看護技術	57:	337-340	2011
小川朝生	せん妄患者への声のかけ方	看護技術	57	565-568	2011
小川朝生	あなたみたいな若い人にはわからないわよ	看護技術	57	668-671	2011
小川朝生	患者だけではなく家族も不安	看護技術	57	741-744	2011
小川朝生	告知の後に患者さんが泣いています	看護技術	57	846-849	2011
小川朝生	傾聴で解決できること、できないこと	看護技術	57	932-935	2011
小川朝生	予期悲嘆は起こさなければならぬのか.	看護技術	57	1023-1025	2011

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小川朝生	患者さんのことを主治医に相談しても話になりません.	看護技術	57	1252-1255	2011
小川朝生	あなたは大丈夫？	看護技術	57	1356-1359	2011
小川朝生	終末期がん患者における精神刺激薬の使用	精神科治療学	26	857-864	2011
小川朝生	SHARE を用いた化学療法中止の伝え方	がん患者ケア	5	3-7	2011
小川朝生	がん患者における医療用麻薬および向精神薬の実態調査	医療薬学	37	437-441	2011
小川朝生	ガイドラインの分かりやすい解説	緩和ケア	21	132-133	2011
小川朝生	臨床への適用と私の使い方	緩和ケア	21	134-135	2011
小川朝生	新しい向精神薬を活用する	緩和ケア	21	606-610	2011
小川朝生	特集にあたって	レジデントノート	13	1194-1195	2011
小川朝生	入院患者の不眠とせん妄を鑑別するポイントを教えてください	レジデントノート	13	1215-1219	2011
小川朝生	統合失調症	看護学生	58	26-30	2011
小川朝生	がん専門病院の立場から	外来精神医療	11	17-19	2011
小川朝生	家族の心理状態について	ホスピスケア	22	30-55	2011
小川朝生	平成 22 年度厚生労働科学研究がん臨床研究成果発表会	Medical Tribune	44	22	2011
小川朝生	Cancer-brain とうつ病	Depression Frontier	9	85-92	2011
岡本直幸	「アミノインデックス技術」を用いたがんリスクスクリーニング	人間ドック	26(3)	454-466	2011
岡本直幸	がん登録の来し方～歴史を知る	JACR Monograph	17	1-5	2012
片山佳代子、夏井佐代子、岡本直幸	神奈川県内における乳がん罹患の地域集積性の検討	JACR Monograph	17	51-52	2012

雑誌 (外国語)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Ito, T., himizu, K., Ichida, Y., Ishibashi, Y., Akizuki, N., Ogawa, A., Fujimori, M., et al	Usefulness of pharmacist-assisted screening and psychiatric referral program for outpatients with cancer undergoing chemotherapy	Psychooncology	20(6)	647-654	2011
Ogawa, A., Nouno, J., Shirai, Y., et al	Availability of Psychiatric Consultation-Liaison Services as an Integral Component of Palliative Care Programs at Japanese Cancer Hospitals	Jpn J Clin Oncol	42(1)	42-52	2011
Ueyama, E., Ukai, S., Ogawa, A., Yamamoto, M., et al	Chronic repetitive transcranial magnetic stimulation increases hippocampal neurogenesis in rats.	Psychiatry Clin Neurosci	65	77-81	2011
Shirai, Y., Fujimori, M., Ogawa, A., Yamada, Y., et al	Patients' perception of the usefulness of a question prompt sheet for advanced cancer patients when deciding the initial treatment: a randomized, controlled trial.	Psychooncology	Epub ahead of print	Epub ahead of print	2011
Miyagi Y, Higashiyama M, Gochi A, Akaike M, Ishikawa T, Miura T, Saruki N, Bando E, Kimura H, Imamura F, Moriyama M, Ikeda I, Chiba A, Oshita F, Imaizumi A, Yamamoto H, Miyano H, Horimoto K, Tochikubo O, Mitsushima T, Yamakado M, Okamoto N	Plasma Free Amino Acid Profiling of Five Types of Cancer Patients and Its Application for Early Detection	PLoS ONE	6(9)	e24243	2011

